

ブロックだより

東北ブロック総会 (福島県支部主催)



令和元年10月5日(日)に福島県田村市船引町の堂山ブルーベリー園内・囲炉裏庵において第37回東北ブロック総会

令和元年10月5日(日)に福島県田村市船引町の堂山ブルーベリー園内・囲炉裏庵において第37回東北ブロック総会が開催されました。東北各地よりと本部代表として9名の参加により、本部総会後に急遽、福島県での開催が決まり、一時は開催が危ぶまれましたが、多くの方々の協力を得て、無事に開催することができました。

総会には、本部の鎌子健さんをはじめ、大塚勝衛さん、佐藤朋夫さん、阿野広美さん、菅原伸芳さん、高橋康幸さん、遠藤寿幸さん、栗山和幸さん、矢吹好憲さんに参加していただきました。

園内の囲炉裏庵(築百

数十年の古民家で、2日間わたって交流と議論を深めました。

様々な課題が生まれ、次回への宿題となりました。活性化、後輩への引継ぎ、継続等が宿題として残りました。

今回は、山形県支部が開催となり、佐藤朋夫さんと決まりました。深い交流が絆となり、次期への期待への力となっていくと思います。

何はともあれ、不十分ではありましたが、無事終了したことを報告いたします。

(文責 矢吹 好憲)

近畿ブロック総会 (奈良県支部主催)

近畿ブロック総会を令和元年11月10日(日)に奈良市の志賀直哉旧居にて開催した。通信教育部より瀬川事務局長、本部からは鈴木会長を迎え、関東ブロック石川相談役、中国ブロック新谷相談役、東京都・三重県・広島県の各支部長にも御出席頂き、28名の出席者で行われた。

総会前段では、来賓として本部からの挨拶から始まり、三重県支部長大形弘さんのマジックショーで楽しくて不思議な手品を披露していただき、講演は「高取城四方面話」と題して奈良県校友会植村家忠会長(高取町長)からお話があり、高取城址が歴史上貴重な遺跡であり、私たちが文化財を守らなければならぬと強く感じた。

後段は、「各校友会の現状を中心に近畿ブロック各校友会の意見発表及び交換を実施した。いざの議題も、前向きで多岐にわたる建設的な意見

続いての記念撮影では、参加者全員がカメラに収まりました。

その後、入浴、懇親会と移り、歓談は盛り上がり、交流を深めるなか、充実した二日の疲れを癒しました。

翌日は、思い出を胸に自由解散となり、成功裏に総会を終えることができました。関係者の皆様誠にありがとうございました。

(文責 松島 進)

九州ブロック総会 (沖縄県支部主催)

令和元年度九州ブロック総会は11月27日(水)・28日(木)、沖縄県那覇市の沖縄ホテルで開催しました。

総会には、通信教育部校友会の鈴木勝会長を来賓に迎え、松尾志郎九州ブロック長をはじめ、佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・地元沖縄を含めた17名が参加しました。

開会あいさつで鹿児島県支部長の古市から、九州ブロック総会を沖縄県で開催した経緯を報告しました。

平成30年度のブロック総会(鹿児島県支部主催)時、欠席の宮城沖縄県支部長からの総会へのメッセージに、90歳という高齢にもかかわらず、沖縄等からそれぞれの活動支部総会をはじめ会費納入・校友会報の配布等、各県支部とも会員の高齢化と新規加入者対策に苦慮している現状について、報告がなされました。

最後に、来年度総会を長崎県支部が担当することを決め、校友会・ブロック会の発展を誓い合せて閉会しました。

総会に続き、懇親会を宮城支部長の歓迎の挨拶で開宴しました。参加者に対して、宮城支部長から泡盛の酒をおみやげにいただきました。ありがとうございました。

宮城支部長は、戦時時代の体験や戦後の戦没者慰霊等での活躍を拝見し、改めて敬意を表する次第です。皆さん、インターネットで「宮城政三郎」と検索してみてください。

沖縄県の校友の皆さんが苦学して学十号を取得されたことは、称賛されます。どうか、これを機に通信教育部校友会沖縄県支部の再興のため再起されることを願ってやみ

入・校友会報の配布等、各県支部とも会員の高齢化と新規加入者対策に苦慮している現状について、報告がなされました。

最後に、来年度総会を長崎県支部が担当することを決め、校友会・ブロック会の発展を誓い合せて閉会しました。

総会に続き、懇親会を宮城支部長の歓迎の挨拶で開宴しました。参加者に対して、宮城支部長から泡盛の酒をおみやげにいただきました。ありがとうございました。

宮城支部長は、戦時時代の体験や戦後の戦没者慰霊等での活躍を拝見し、改めて敬意を表する次第です。皆さん、インターネットで「宮城政三郎」と検索してみてください。

沖縄県の校友の皆さんが苦学して学十号を取得されたことは、称賛されます。どうか、これを機に通信教育部校友会沖縄県支部の再興のため再起されることを願ってやみ

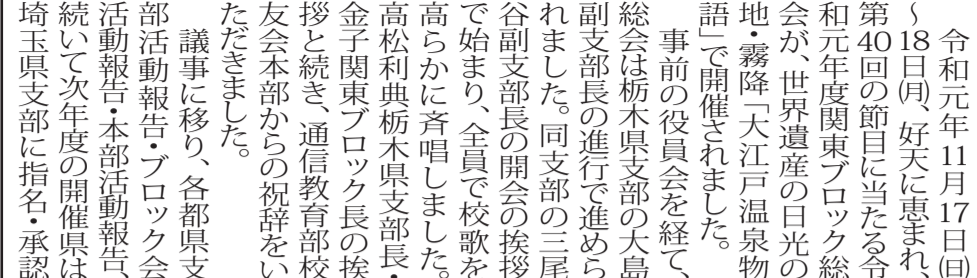
インターネットで「宮城政三郎」と検索してみてください。

沖縄県の校友の皆さんが苦学して学十号を取得されたことは、称賛されます。どうか、これを機に通信教育部校友会沖縄県支部の再興のため再起されることを願ってやみ

ません。校友会規約総会開催通知文書・会費納入方法・予算書・決算書等、鹿児島県支部の例を参考にUSBメモリでの提供・協力を惜しみませんので、是非、実現を願っています。

(文責 古市 重喜)

関東ブロック総会 (栃木県支部主催)



令和元年11月17日(日)18日(月)好天に恵まれ、第40回の節目に当たる令和元年度関東ブロック総会が、世界遺産の日光の地・霧降「大江戸温泉物語」で開催されました。

事前の役員会を経て、総会には栃木県支部の大島副支部長の進行で進められました。同支部の三尾谷副支部長の挨拶で始まり、全員で校歌を高らかに斉唱しました。高松利典栃木県支部長・金子関東ブロック長の挨拶と続き、通信教育部校友会本部からの祝辞をいただきました。

議事に移り、各都県支部活動報告・ブロック会活動報告・本部活動報告が続いて次年度の開催は埼玉県支部に指名・承認

され、提出された議事は滞りなく終了しました。議長解任の後、次期開催県の南雲琦玉県支部長から受諾のご挨拶をいただき、栃木県の小幡副支部長が閉会の挨拶をしました。

休憩の後、記念講演に移り、茨城県の校友井上洋氏から「出会いで学ぶ」と題して、通信教育を含む貴重な出会いを披露していただきました。

最後に、栃木県知事福田富氏から講演をいただきました。知事は日本大学校友会栃木県支部長でもあり、県知事の重職を長年務められておられ、今般の天皇即位に関する大嘗祭に栃木県として果たした役割や台風19号に対応した実績等、県

政状況全般をわかりやすく、栃木弁での平易な語り口で懇談的に講演され、参加者も熱心に耳を傾けていました。

政状況全般をわかりやすく、栃木弁での平易な語り口で懇談的に講演され、参加者も熱心に耳を傾けていました。

政状況全般をわかりやすく、栃木弁での平易な語り口で懇談的に講演され、参加者も熱心に耳を傾けていました。

支部だより

岩手県支部



令和元年度岩手県支部総会は、12月1日(日)盛岡市大通橋本屋において支部会員9名が参加し開催された。

令和元年度岩手県支部総会は、12月1日(日)盛岡市大通橋本屋において支部会員9名が参加し開催された。

今回は、支部長及び幹事長が交代し、新しい体制での初めての総会となった。

櫻庭新支部長による挨拶の後、議事に進み、箱石幹事が議長に選出され、平成30年度事業報告と決算、令和元年度事業計画と予算案、支部規約の改正などについて審議された。

平成30年度の事業報告では、本部総会の様子

報告された。また、今回ご出席はできなかったが、菅原前支部長に顧問として指導いただき、それに伴う規約の改正案も承認された。

総会後は懇親会が開催され、和気藹々と懇談を行った。最初出席者が自己紹介と近況報告を行った後、懇談に入り、年々転居や死亡などにより連絡の取れない会員が多くなっている現状について、どのようにして会員の減少を食い止めていくかなどが話題となった。

最後に、次の総会での再会を約束し解散となった。

(文責 菅原 伸芳)

神奈川県支部



令和2年1月25日(土)1時より、川崎市麻生区新百合ヶ丘エルミロード・オーガニックレストランで令和元年度神奈川県支部総会を開催いたしました。

出席者は、日本大学通信教育部校友会会長・鈴木勝、副会長・師田袈裟茂、副幹事長・田添正、黒澤大治、本間道明の5名でした。

内容としては、初めに、支部長の私、本間道明が病気で思うように活動ができなく、神奈川県支部の皆様にも多大なるご迷惑をおかけしましたことを説明しました。

次ページに続く